

# 平成31年度 第九中学校の学校経営計画について(概要)

足立区立第九中学校長  
長塚琢磨

## 学校教育目標

人間尊重の精神を基盤に据え自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応し、国際社会で活躍できる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

## 生徒行動指針(校訓)

**磨く**

自分自身のよさを見だし、向上していく。

**挑む**

できないことや新しいこと等に立ち向かっていく。

**思いやる**

自他の違いを認め、尊重する心を育む。

## 教職員指導指針

「やさしく厳しく指導する」  
生徒がわかるまで、できるまで指導する。

「組織で職務に当たる」  
報告・連絡・相談を密にし、組織で仕事を推進する。

## 基本的な考え方

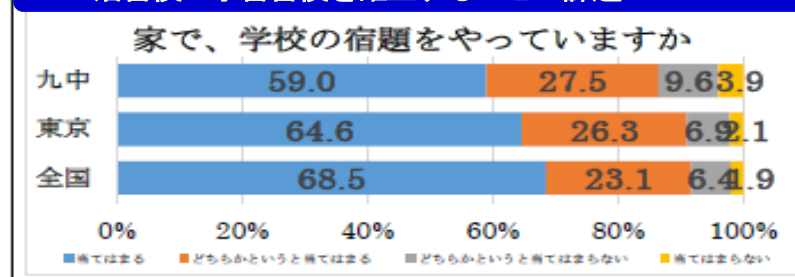
### 【学校経営の3つの柱】

- 学力向上
- 健全育成
- 体力向上

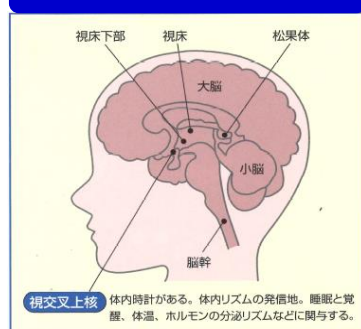
小中一貫教育による  
活力ある子どもの育成

- 義務教育の最終段階として自立させる指導  
生徒が、自らを律し、活力ある行動により、自らを磨き高め、自分にあった適切な進路を選択する力の育成が必要です。
- わかる授業・できる授業づくりと家庭との連携強化  
学校と家庭が一丸となって、生徒が自己開発できるように、挑む態度を育成する必要がある。
- 発達の段階に合った指導の充実  
小中一貫教育の視点に立った段階的な指導が必要である。

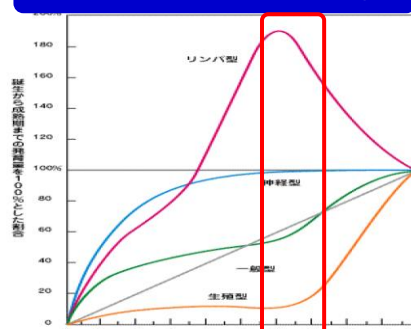
### 生活習慣・学習習慣を確立することが課題



### 朝日で脳がリセット



### スカヤモンの発育・発達曲線



## 指導の重点と主な取組「活力ある生徒の育成」

### 指導の重点

#### 学力向上

基礎学力の定着と思考力・判断力・表現力を育成し主体性と国際感覚をもった人材を育成する。

#### 豊かな心の育成

思いやりの心を育てるとともに、自治の力を身に付けさせ、自己有用感や自尊感情を高める

#### 体力向上

全ての活動の源である体力の理解を深め、生涯にわたって健康で豊かな生活を送る基礎を育む。

#### 小中一貫教育の視点に立った指導の充実

義務教育9年間で体系的・系統的な指導を行い、次代を担う活力ある子どもを育成する。

#### 指導体制の充実

学校・家庭・地域がチームとして子どもを育てる仕組みの構築や授業力の向上を図る。

### 主な取組内容

個に応じた指導、主体的に学ぶ態度の育成、学習コンテンツ、学習カウンセリング、ESL(エクストラ・サプリメント・レッスン)、夏季補習教室やサマースクール、関係機関との連携、土曜スクールや各種検定の推進 など

挨拶や礼儀・マナー指導の推進、道徳教育の充実、人権教育の推進、学校行事等における生徒の主体的な取組、自治活動の充実、社会貢献活動の推進 など

部活動の推進、生活習慣や運動習慣の確立、食育の推進、保健体育等の授業改善、健康教育の推進、東京都教育委員会スーパーアクティブスクールの成果の普及 など

系統性を踏まえた授業や生活指導の充実、小学生の中学校における授業や部活動等の体験、中学生による夏季休業中の小学生補習学習の支援 など

学校・家庭・地域の連携強化、開かれた学校づくり協議会等の充実、若手教員の育成とOJTの充実、HP・各種便り・公開授業、啓発資料等による情報発信 など

# 平成30年度の学校評価と平成31年度の方針について（概要）

平成31年1月22日

足立区立第九中学校

## 本年度の重点方針と成果

### 学校教育目標（目指す教育） [教員の自己評価]

目指す学校像 [81.5%] 肯定的  
文武両道、人権教育の推進 組織力の強化

目指す生徒像 [74.1%] 肯定的  
「磨く」「挑む」「思いやる」

目指す教師像 [77.8%] 肯定的  
使命感と責任感、組織力、やさしく厳しい指導

### 教育の質の向上（目指す成果）

学力向上 [本年度の成果等]  
学校での学習で努力80.0%以上 [84.9%]  
家庭学習1時間以上70.0%以上 [56.8%] ※昨年の通過率64.9%  
通過率65.0%以上を目指す [55.6%] 区：-9.2ポイント

健全育成 昨年度比 九中：-9.3ポイント  
学校生活満足度80.0%以上 [88.6%]  
部活動を頑張った90.0%以上 [90.6%]  
学校行事を頑張った90.0%以上 [95.0%]

小中一貫教育の視点に立った教育の推進  
年6回以上の協議会等による授業改善 [年8回、まとめ完成]  
児童・生徒の交流や円滑な接続 [交流や体験の実施]  
体力向上の取組の充実 [全国平均を超えた]

スーパーアクティブスクール（都教育委員会指定校）  
4つの視点で3年間研究、1/23 研究発表会の実施

## 平成30年度の調査結果の分析と、改善・充実の方向性

### 【生徒による自己診断】

調査結果（肯定的に回答した割合：数値は%） 12月10～14日実施

項目	全体	1年	2年	3年
学校生活に満足していますか。	88.6	80.9	89.9	94.7
挨拶はしっかりできていますか。	95.7	95.6	95.6	95.9
学校での学習に努力していますか。	84.9	86.7	82.6	84.7
運動会では頑張りましたか。	96.0	96.2	95.0	97.0
文化祭では頑張りましたか。	94.0	90.4	96.3	95.2
部活動等では頑張りましたか。	90.6	91.9	90.6	89.3
人のためになることをしましたか。	84.4	84.9	81.1	87.1
運動やスポーツに関心をもちましたか。	86.0	90.0	79.9	88.0
体力は高まってきてと思いますか。	83.3	85.6	77.7	86.9
家庭学習を1時間以上やっていますか。	56.8	60.0	39.6	69.5
いじめをしないさせないようにしていますか。	89.9	91.1	88.1	90.6
自分には良いところがあると思いますか。	78.0	75.2	73.8	85.1

- 学校生活に満足しており、学年が上がるにつれて数値が高くなっている。特に、挨拶や学校行事、部活動は、第九中学校としての誇れる特色である。
- 約85%の生徒が、学校での学習に努力している。しかしながら、家庭学習については60%程度であり、十分定着していないことかわかる。
- 体力向上の実感や運動・スポーツへの関心をもつ生徒が80%を超えている。
- 自己肯定感については、第3学年で85.1%と高い数値になっている。

### 【教職員による自己診断】

調査結果（教員の割合、A：とても良い・とても当てはまる、B：よい・当てはまる）

項目	A+B	A	B
「磨く」生徒の育成	81.5	25.9	55.6
「挑む」生徒の育成	74.1	22.2	51.9
「思いやる」生徒の育成	77.8	22.2	55.6
使命感と責任感をもった教師	81.5	29.6	51.9
組織で職務に当たる教師	62.9	22.2	40.7
生徒に寄り添い優しく厳しく指導する教師	77.8	14.8	63.0
基礎学力の定着の指導	66.7	11.1	55.6
意欲を高める学習活動の指導	74.1	14.8	59.3
学校行事における主体的な運営の指導	81.5	29.6	51.9
部活動への積極的な参加の指導	74.0	33.3	40.7
小中交流と社会貢献活動の指導	70.4	7.4	63.0
体力向上と活力ある生活の推進について	81.5	22.2	59.3

- 本年度から4件法の調査に変えた（昨年まではABCの3件法）。
- 「B」の自己評価が多い（「D」は、ほとんど無かった）。特に、使命感や責任感、学校行事及び体力と活力の指導が高い評価である。
- 生徒指導指針の「磨く」生徒の育成に力を入れる傾向にある。
- 組織としての動き、基礎学力の定着及び小中交流と社会貢献活動の指導の充実が課題である。

**関係者評価**：教育活動等の視察及び協議、保護者・地域の期待や願い、自己評価等の調査結果など  
[開かれた学校づくり協議会で検討し、学校を評価し次年度に向けて提言する。]

## 平成31年度に向けた課題の整理

- 40を超える小学校から入学があり、九中らしい挨拶・礼儀、規範意識、活力の伝承・発展が課題である。
- 学力向上については、基礎学力の定着の授業づくりを一層進め、生徒が意欲を高め主体的に学習する態度を育成するとともに、保護者との連携を強化し、家庭学習の習慣を確立することが課題である。
- 健全育成については、九中の誇りである挨拶や学校行事の主体的な取組を推進するとともに、いじめ許さない、人のためになることをするなど、豊かな心や自己肯定感を高める指導の充実が課題である。
- 都教育委員会指定校での体力の向上や活力ある生徒の育成の成果を発展させることが課題である。
- 義務教育9年間の小中一貫教育の視点から、オリンピック・パラリンピック2020東京大会を見据え、学力・体力・豊かな心を目指し、保護者・地域との連携を強化して、レガシーを意識した教育の充実が課題である。

## 平成31年度の教育計画の重点

- 1 学力向上：基礎学力の定着、主体的に学ぶ力の育成、個に応じた指導の充実、コンテストや補充の強化、家庭学習の充実 等
- 2 健全育成：挨拶と規範意識の向上、学校行事等での主体的な態度の育成、部活動の充実、いじめを許さない社会づくり 等
- 3 体力向上：活力ある生徒の育成、体力に関する意識向上、オリンピック・パラリンピック教育の推進 等
- 4 連携強化：小中一貫教育の視点に立った体系化した指導の推進、社会貢献活動の推進、学校・家庭・地域の連携強化 等